

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第39週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (39週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：報告なし。

4 類感染症：日本紅斑熱 4 例、レジオネラ症 1 例。5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	肺結核	発熱
		都城	80歳代	男	結核性胸膜炎	咳、呼吸困難
4類	日本紅斑熱	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
		日南	70歳代	女	—	発熱、頭痛、発疹、肝機能異常
		小林	70歳代	男	—	発熱、発疹、肝機能異常
		中央	50歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常
	レジオネラ症	日向	60歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 233 人(定点当たり 6.6)で、前週比 85%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

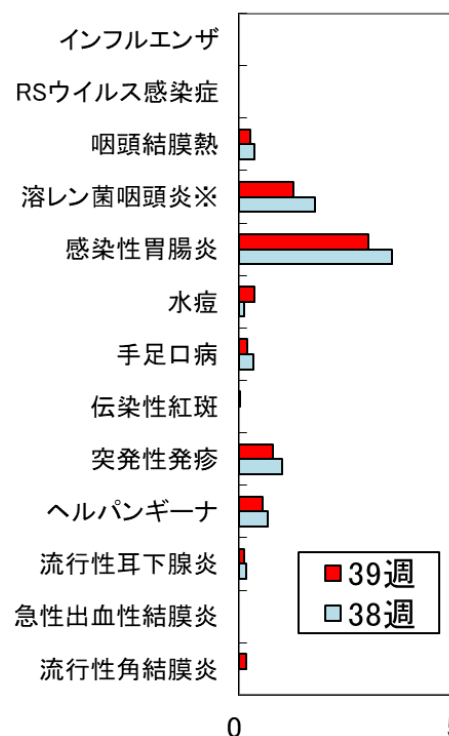
報告数は 45 人(1.3)で、前週比 73%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.4)の約 0.9 倍であった。延岡(3.0)、日南(2.7)、宮崎市(1.6)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳が全体の約 2 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は 106 人(2.9)で、前週比 85%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (6.3)の約 0.5 倍であった。中央(7.0)、都城、日向(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1~2 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

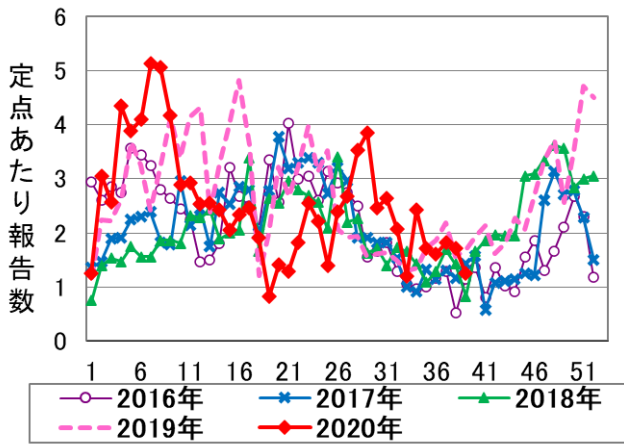
《前週との比較》



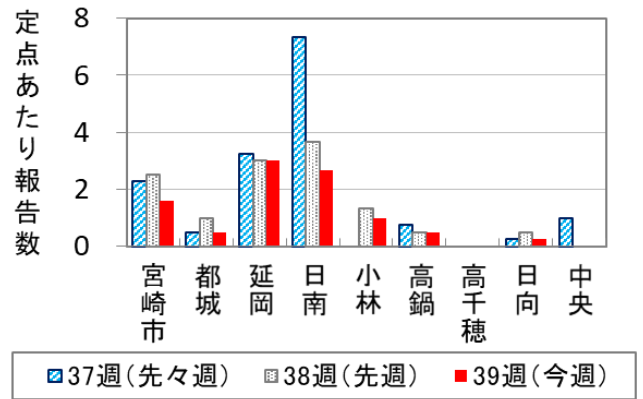
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

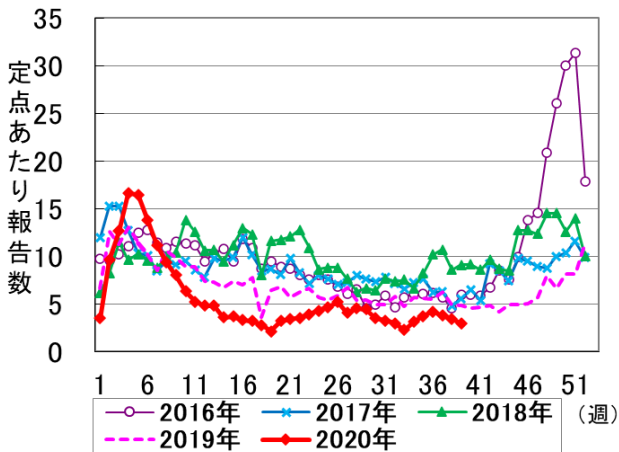
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



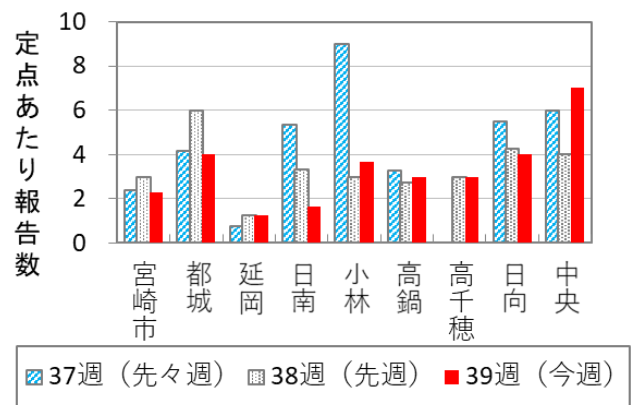
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	水痘(1.7)
小林	水痘(1.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(1.0)

* 流行注意報レベル基準値 *
・水痘(1.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和2年9月28日までに検出）

★細菌 なし。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
コクサッキーウイルスA4型	0～4歳	女	2020.06.23	急性気管支炎、39.1℃ 上気道炎(咽頭炎)、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2020.09.18

🇯🇵 全国 2020 年第 38 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 38 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	256 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	129 例				
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	1 例	回帰熱	1 例
	コクシジオイデス症	1 例	つつが虫病	1 例	日本紅斑熱	5 例
	ライム病	1 例	レジオネラ症	46 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	25 例
	急性脳炎	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性肺炎球菌感染症	2 例
	水痘（入院例）	2 例	梅毒	59 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	12 例

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 101%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は1,945人(0.6)で前週比113%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約0.5倍であった。鳥取県(2.8)、宮崎県、長崎県、福岡県(1.7)からの報告が多く、年齢群別では4歳から6歳が全体の約4割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は5,698人(1.8)で前週比98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(3.1)の約0.6倍であった。大分県(4.0)、香川県(3.8)、宮崎県(3.5)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約3割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第39週(09月21日～09月27日)

疾病名	第38週	第39週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	9	5	1	2	1				
	定点当り	0.36	0.25	0.50	0.17	0.00	0.67	0.33	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	62	45	16	3	12	8	3	2	1	
	定点当り	1.72	1.25	1.60	0.50	3.00	2.67	1.00	0.50	0.00	0.25
感染性胃腸炎	報告数	125	106	23	24	5	5	11	12	3	16
	定点当り	3.47	2.94	2.30	4.00	1.25	1.67	3.67	3.00	3.00	4.00
水痘	報告数	4	13	3		5	3			1	1
	定点当り	0.11	0.36	0.30	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.25	1.00
手足口病	報告数	12	7		7						
	定点当り	0.33	0.19	0.00	1.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数		1								1
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	35	28	7	4	5	3	2	5	1	1
	定点当り	0.97	0.78	0.70	0.67	1.25	1.00	0.67	1.25	0.00	0.25
ヘルパンギーナ	報告数	24	19	3	5	2		5		3	1
	定点当り	0.67	0.53	0.30	0.83	0.50	0.00	1.67	0.00	0.75	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	6	4	1	3						
	定点当り	0.17	0.11	0.10	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数		1	1							
	定点当り	0.00	0.17	0.33	0.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～39週)

2類感染症	結核	119例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	5例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	9例(4)
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	2例
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	水痘(入院例)	7例	梅毒	16例
	破傷風	5例	百日咳	37例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	365例	重症熱性血小板減少症候群	3例
			レジオネラ症	7例(1)
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例
			侵襲性肺炎球菌感染症	9例
			播種性クリプトコックス症	2例
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例

()内は今週届出分、再掲